教科：さんすう　単元名：おおきいかず

学年：1年

タイトル

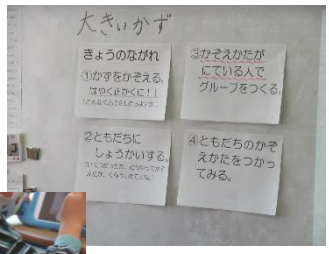
おおきいかずについてまなぼう

10のキーワード
・正式な依頼
・「ゲーム」という眼差し

問いストーリー（単元の概要・児童への願い）

<教師のねらい>A-1イ（ア）に「数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かすこと」とあるように、二位数や三位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数の構成に着目して数の計算の仕方を考える力を養うとともに、日常生活に活用しようとする態度を身につけさせたい。

<主体的に取り組む児童の姿>児童は授業の中で、「もっと大きな数を数えるにはどうしたらよいのだろう」という問いや、「もっと大きな数を数えられるようになりたい」という願いを持つと考えられる。校内のあちこちで大きな数のものを探して写真に撮り、それを実際に数えてみる活動を通して、大きな数への興味を高めていく。

単元計画

	授業概要
1	この夏、子どもたちが集めたアサガオの種を見せ、来年の1年生にプレゼントするために、どうしたら正確に数えられそうかと問いかける。そこで「大きなかずをはやく正かくにかぞえられるようになろう」という見通しを持ち、教師が校内で撮った大きな数の写真を見て、子どもたちも写真を撮りに行き、それぞれのやり方で数えてみる。
2 本時 3	前時でどんな数え方をしたのか共有し、子どもたちが集めてきた写真を使って、色々な数え方を実際にやってみる。 各々のやり方を共有し、1番よいのはどれなのか、それはなぜなのか考えさせる。
4	10のかたまりにしてから写真を撮った方がわかりやすいことに気づき、再度写真を撮りに行く。
5 ～ 8	全体指導を通して、100までの数の数え方や位取り表、数直線の読み方、くり上がりくり下がりのない大きい数のたし算やひき算の方法を学ぶ。また、自分が取り組みたいことを決めて、自由進度学習で技能を高める。
9	実際にアサガオの種の数を数えてみる。